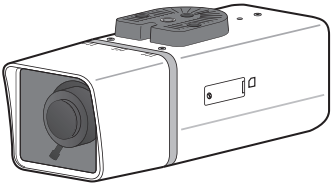


JVC

レンズ一体型HDネットワークカメラ

型名 **VN-H137**

取扱説明書(設置編)



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書(設置編)」(本書)と別冊の「安全上のご注意」,
「取扱説明書(IP設定編)」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊
の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号
が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製
造番号が一致しているかお確かめください。

本機の取り付け方は、裏面をご覧ください。

LST1242-001A

安全上のご注意

本機に電源を供給するには、PoEを利用します。正しい電圧でお使いください。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やか
にご相談窓口へ連絡してください。
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。
速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この取扱説明書の見かた

本書では本機の設置に関する操作を説明します。

- ネットワークの基本設定については[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
- 画像やネットワークなどの設定については付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
- 最新の情報については、付属のCD-ROM内の"README"ファイルをご覧ください。
- 付属のCD-ROMには、[取扱説明書(設定編)](pdf)、[APIガイド](pdf)、[JVC-VN-検索ツール]、[JVC-VN-IP設
定ツール]、[README](txt)が含まれています。

本文中の記号の見かた

【ご注意】：操作上の注意が書かれています。

【メモ】：機能や使用上の制限など、参考になることが書かれています。

【参照】：参照ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行なうことは禁じられ
ています。
- Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、などのマークは省略してあ
ります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。

添付物・付属品

保証書	1	[取扱説明書(設置編)](本書)	1
[ご相談窓口案内]	1	[取扱説明書(IP設定編)]	1
[安全上のご注意]	1	CD-ROM	1

ケーブルについて

- LAN ケーブル**
- HUBに接続する場合：
ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合：
クロスケーブルを使用してください。
- ケーブルには、カテゴリ5以上のSTP(シールドケーブル)を推奨します。

【ご注意】

- パソコンによってはクロスケーブルを利用できない機種があります。本機をパソコンに接続する場合には事前に
パソコンのLAN仕様をご確認ください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお
買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入およ
び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたし
ます。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障そ
の他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の
詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご
相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お
客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上
げの販売店または別紙ご相談窓口案内をご覧ください。
りのご相談窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知ら
せください。

品名：レンズ一体型HDネットワークカメラ
型名：VN-H137
お買い上げ日：
故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適
正に処理してください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950 [代表]
FAX (045) 450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に
管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者
に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>
株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LST1242-001A

© 2012 JVC KENWOOD Corporation

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 本機は屋内用カメラです。屋外で使用する場合は、
ハウジングなどを使用してください。
- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
 - ・使用周囲温度(-10℃～50℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - ・許容動作湿度(20 %RH～90 %RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
 - ・変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ほこりや砂の多いところ
 - ・振動のあるところ
 - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - ・厨房など蒸気や油分の多いところ
 - ・放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
 - ・プールなど薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 熱のこもる場所に設置しない
本機は本体表面からも放熱を行なっています。壁の近くなど熱のこもる場所に設置しないでください。

取り扱いについて

- 本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないください。
過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。
- 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通風を妨げない
本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

著作権保護に関して

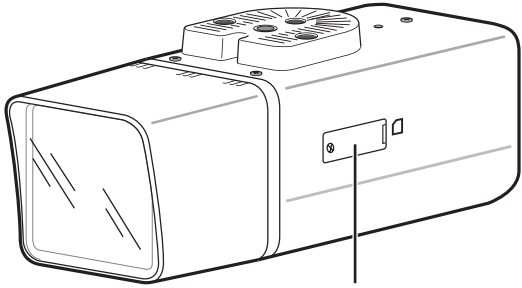
- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者) が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、情報処理等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機を取り付ける

ご注意

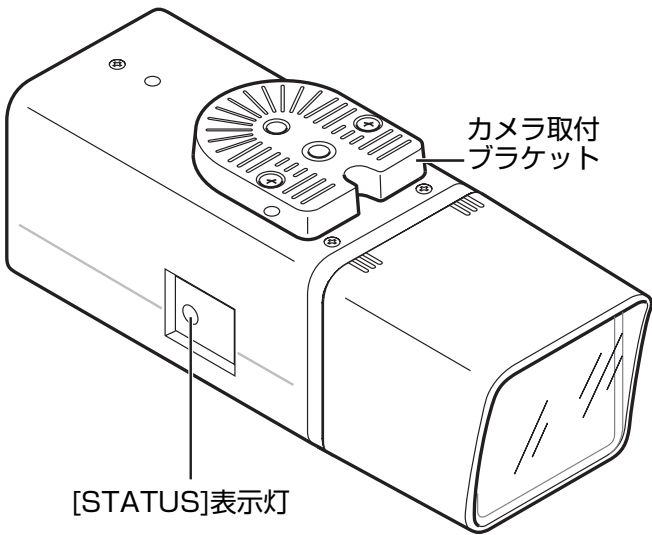
- 壁または天井に取り付けるには特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- 落下防止のため本機を強度のあるところ(天井スラブまたはチャンネル)に落下防止ワイヤーで接続してください。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- SDカバーは、SDカードを本体に挿入するときに使います。SDカード記録には現在対応していませんのでカバーを開けないでください。



SDカバー

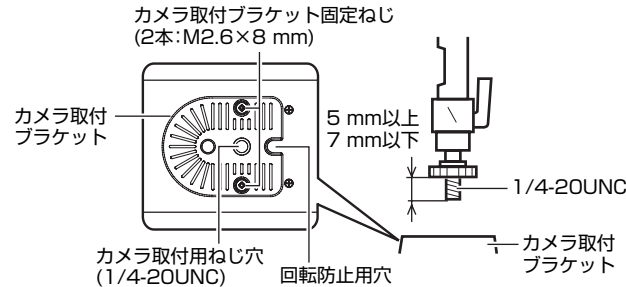
本機をフィクサーや回転台などに取り付ける

本機をフィクサーや回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ねじ穴(1/4-20UNC)を使用します。高所に取り付ける場合は、落下防止ワイヤーを背面部の落下防止ワイヤー取付ねじに取り付けてください。



カメラ取付
ブラケット

[STATUS]表示灯

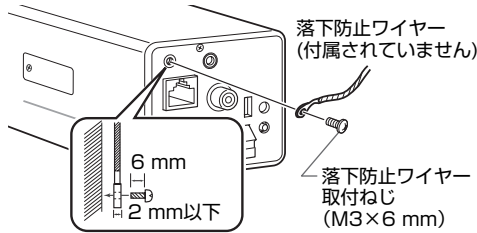


ご注意

- ねじは確実に固定してください。
- カメラ取付ブラケット固定ねじの長さは取り付け面より5 mm以上7 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

落下防止ワイヤーを取り付ける

フィクサーや回転台などに取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し確実に取り付けてください。



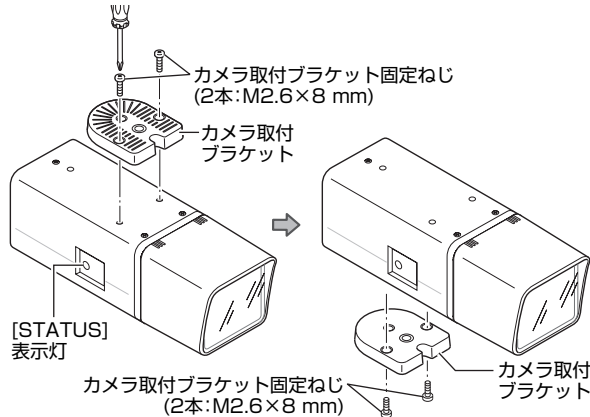
ご注意

- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)などにも十分注意してください。長さは取り付け可能な範囲で短くしてください。強度は本機質量およびレンズとフィクサーの総重量に十分に耐えるものを使用してください。(ワイヤー端の処理にも注意してください)
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじを利用してください。
- 落下防止ワイヤーは落下防止ワイヤー取付ねじで固定してください。本機背面のねじを使用しない場合は、指定の長さ(M3 x 6 mm)より長いねじを使用すると、本機内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

本機の下面にカメラ取付ブラケットを取り付ける場合

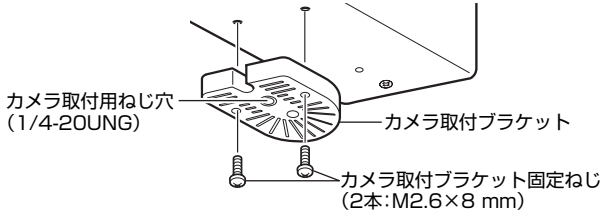
メモ

- 出荷時カメラ取付ブラケットは本機上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ねじ2本をはずして付け換えます。



ご注意

- カメラ取付ねじは、8 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。



ケーブルを接続する

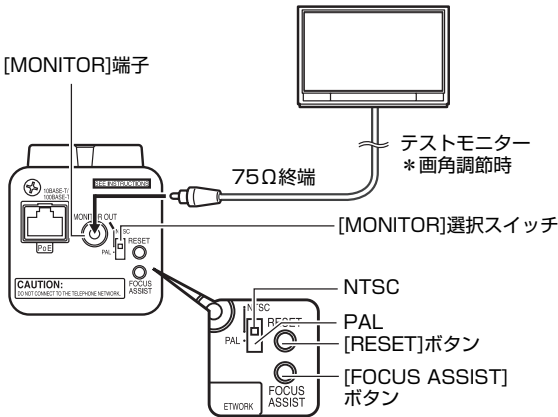
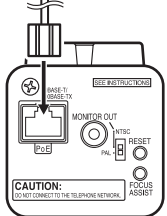
電源を接続する

- 電源はLANケーブルから供給します。PoE給電器を接続してください。
- 電源が供給されると、本機側面の[STATUS]表示灯が起動中はオレンジ色、起動後は緑色に点灯します。

メモ

- 運用中点灯している[STATUS]表示灯を点灯させない設定もできます。設定については、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]を参照ください。
- 100BASE-TXをご使用の場合は、カテゴリ5以上のケーブルをご使用ください。
- PoE給電器は、接地を確実にに行い、お使いください。

PoE給電器へ



メモ

- モニター出力映像の縦横比は、16:9です。映像を確認するテストモニターの縦横比が4:3の場合、カメラ映像の縦横比を4:3に変換して映像が表示されます。

同軸ケーブルにモニター映像信号出力端子を接続する

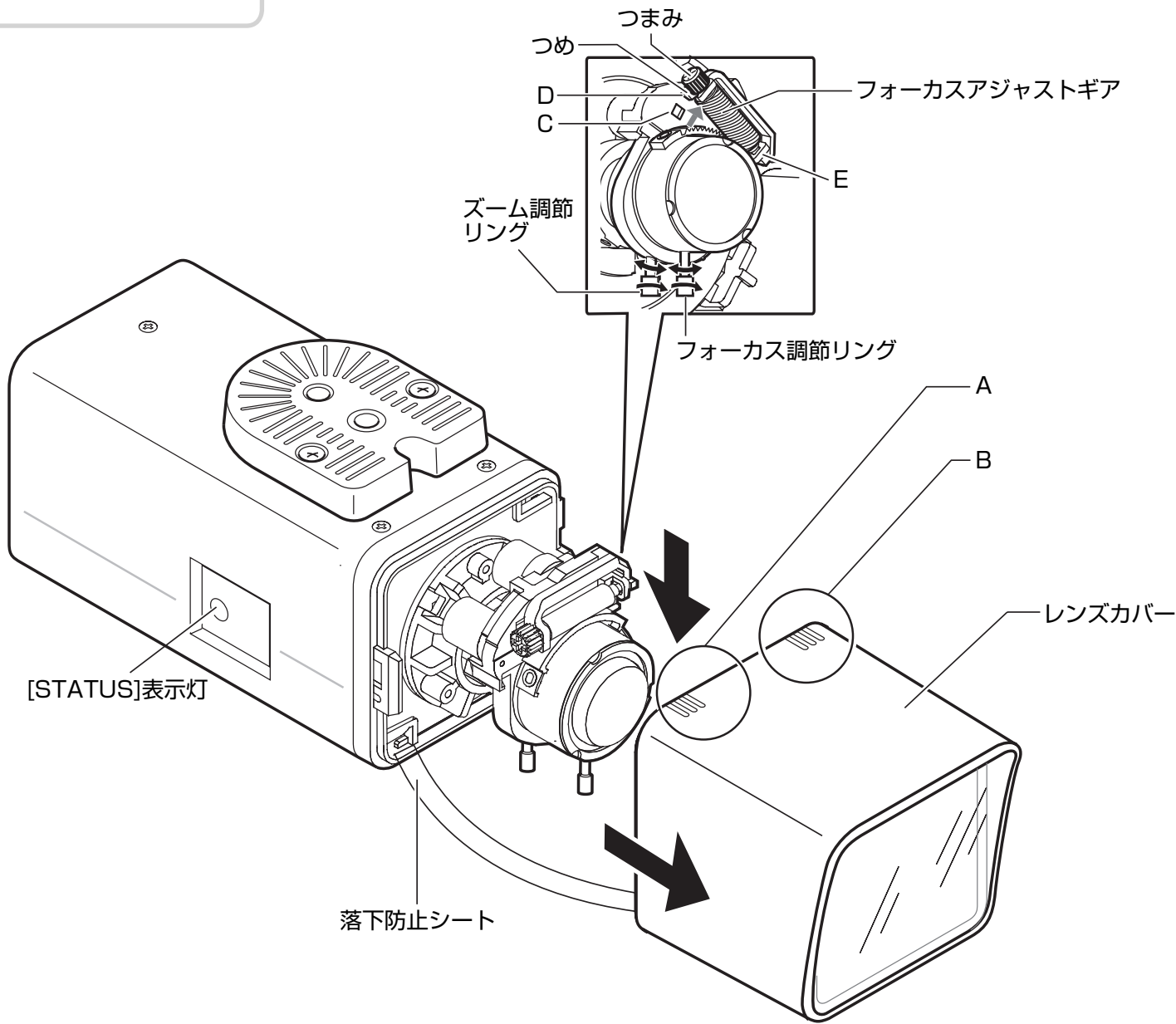
[MONITOR]端子にテストモニターを接続します。本機設置時の画角調節や、フォーカスアシストモードでフォーカスを調節する場合に使用します。ビデオケーブル(RCA)でビデオモニターなどと接続します。PAL用のモニターで見ると、[MONITOR]選択スイッチを"PAL"に切り換えたあと、リセットボタンを押して再起動してください。

ご注意

- ケーブルが長いほど信号が減衰するため、解像度が低下し、ノイズがふえます。取り付けの際には、減衰量の少ないケーブルの利用を推奨します。
- [RESET]ボタンを5秒以上押し続けると、サービスモードになりますので5秒以上押し続けしないでください。

電源を入れる

接続と取り付けがすべて終了した後、機器の電源を入れてください。起動中は[STATUS]表示灯がオレンジ色に点灯し、起動後は緑色に点灯します。



映像を調節する

映像を調節する

実際の画像を見ながら画角・フォーカス調節をします。

ご注意

- 本機を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気により本機が故障する場合があります。

1 レンズカバーをはずす

レンズカバーの目じるし(ABどちらか)を上下から押し、片方のつめを本機からはずした後、もう片方のつめを本機からはずします。

ご注意

- レンズカバーを強く引っ張らないでください。落下防止シートがはずれることがあります。
- レンズカバーを取り付けるとき、落下防止シートを挟み込まないように注意してください。
- レンズカバーをはずすとき、レンズにあたらないように真っ直ぐに引き出してください。レンズカバーがレンズに当たると、故障の原因になります。

2 カメラの撮影方向を調節する

撮影したい方向にカメラを向けます。

ご注意

- カメラの撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

3 画角を調節する

ズーム調節リングの固定ねじを緩め、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。調節が終わったら、固定ねじをレンズ方向(被写体方向)に寄せて締めます。

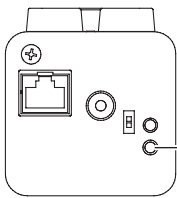
4 フォーカスを粗調節する

- フォーカスアジャストギアのつまみを持ちあげ、つまみを図のCからはずしDに入れ、ギアのかみ合わせを解除します。
- フォーカス調節リングの固定ねじを緩め、左右に動かし、フォーカスを調節します。

ご注意

- ギアをDより外側に開きすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(図中E)からはずれます。このような場合は軸を軸受けEに入れなおし、元の状態に戻してご使用ください。

フォーカスを微調節する



[FOCUS ASSIST]ボタン

1 [FOCUS ASSIST] ボタンを押す

- フォーカスアシストモードになり、[STATUS]表示灯が緑色とオレンジ色の点灯を繰り返します。
- 絞りが開放になるとともに輪郭が強調されます。

2 被写体を撮影する

3 フォーカスを微調節する

つまみを図のCに戻してから、フォーカスアジャストギアの手つまみを回し、フォーカスを最適位置に調節します。

4 フォーカス調節リングを固定する

フォーカスアジャストギアを、図の矢印方向に指ではさんで押さえながら、フォーカス調節リングの固定ねじを締めます。

5 フォーカスアシストモードを解除する

- [FOCUS ASSIST]ボタンを押して、フォーカスアシストモードを解除すると、[STATUS]表示灯が緑色点灯に戻ります。
- レンズカバーを取り付けます。

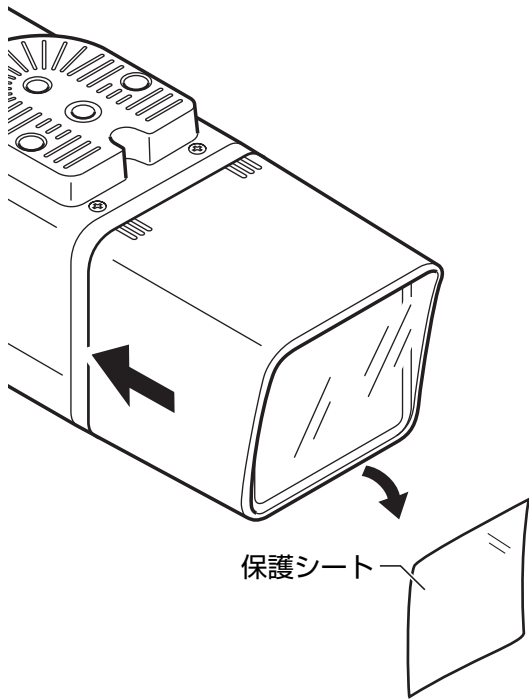
レンズカバーを取り付ける

1 レンズカバーを取り付ける

ご注意

- レンズカバーがレンズに当たらないように、注意して取り付けてください。レンズカバーがレンズに当たると、故障の原因になります。
- レンズカバーは確実に取り付けてください。

2 保護シートをはずす



保護シート

仕 様

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

カメラ部	撮像素子	1/3 型正方画素プログレッシブスキャン方式CMOS(原色フィルタ)
	有効画素数	約2,120,000 画素 1944(H)×1092(V)
	最低被写体照度	カラー 0.3 lx (typ.) 白黒(簡易デイナイト) 0.25 lx (typ.)
モニター出力		1.0 Vpp, 75Ω NTSCまたはPAL(スイッチ切換)
ネットワーク出力	画像圧縮フォーマット	JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile
	フレームサイズ	1920×1080 1280×960 1280×720 640×480 640×360 320×240
	ネットワークインターフェース	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応
アラーム記録		16 MB
レンズ	焦点距離	f = 2.8 mm ~ 10.5 mm
	最大口径比	F1.2(f = 2.8 mm) ~ F2.6(f = 10.5 mm)
	絞り範囲	F1.2 ~ F360
	ズーム比	3.75 倍
LAN規格	規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3af準拠
	通信プロトコル	UDP、HTTP、FTP、ICMP、ARP、TCP/IP、RTP、DHCP、SNTP、SMTP、RTSP
総合	電源電圧	PoE(DC-48 V)
	消費電流	120 mA
	周囲温度	−10℃ ~ 50℃(動作) 0℃ ~ 40℃(推奨)
	周囲湿度	20 %RH ~ 90 %RH(結露なきこと)
	質量	390 g

外形寸法図(単位: mm)

